

日本映画衛星放送株式会社・第26回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成24年3月13日(火)15時~16時  
2. 開催場所 : 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー東館15F  
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム  
3. 委員の出席 : 委員総数 9名 / 出席者委員数 9名  
出席委員(順不同、敬称略): 鳥居美砂・田保橋淳・坂井保之・菊地 実・石上三登志・  
曾根和子・西 正・鈴木嘉一・川本三郎

放送事業者側出席者氏名: 代表取締役社長 杉田成道  
常務取締役 酒井 彰  
編成部部長(現・編成制作部部長) 宮川朋之  
制作部部長(現・放送運行技術部部長) 関本広文  
制作部担当部長(現・編成制作部担当部長) 澤 尚志  
番審担当 堤 靖芳  
碓井恭子(記)

4. 議題:(1) 審議事項

時代劇専門チャンネル オリジナル番組「時代劇おもしろ雑学『虎之巻』」、  
「時代劇最新情報番組『瓦版』」、「龍ちゃん松ちゃんのぶらり探訪・東海道」、  
「剣客惣菜」の4番組について

(2) 報告事項

ペアレンタルロックの導入と対象作品審議承認について

5. 議題(1) 概要

2月23日に総務省より、CS110度(スカパー!e2)における時代劇専門チャンネルのHD化認定書が交付された。これにより本年中には、CS110度上で時代劇専門チャンネルのHD放送を開始することが可能となった。このタイミングで、時代劇専門チャンネルでレギュラー放送しているオリジナル番組について先生方にご意見をいただき、今後の時代劇専門チャンネルのHD放送を見据えた、より良い番組制作につなげたい。

6. 議題(1) 審議内容

< 番審委員意見 >

- ・面白く見た。時代劇を語るということは、そのまま江戸文化を語ることになると思った。『剣客惣菜』を見て自分でも作ってみた。時代考証をしても良い。
- ・短編オリジナル番組は箸休め的な感じで非常に良い。しかし『瓦版』の時代劇体操は要らない。良かったのは『剣客惣菜』。シリーズなので、DVDにしたら良いと思う。
- ・『剣客商売』の本編後『剣客惣菜』があるのは良い。すごくよく出来ている。「時代劇おもしろ雑学『虎之巻』」も面白かった。10分尺があると1歩踏み込んだ作りが出来て良い。

- 『ぶらり探訪・東海道』は、1週間に2回だけの放送で、使い方が贅沢だ。
- ・こういう番組が時代劇に対する理解を深め、興味を増し、ひいてはチャンネルのパワーアップにつながると思う。
  - ・それぞれ面白かった。『虎之巻』の凧の話が頭脳に、『剣客惣菜』の卵は味覚にと、様々な切り口で感覚に訴えてくるので、時代劇の世界が色々な角度で楽しめる。
  - ・時代劇はいろんなものを見てきた人が帰ってくる場所。懐かしく帰ってきて、安心して見られる。番組も見ながら安心するというか、親しみを感じる。とても良いことだ。
  - ・物足りなかった。時代劇の専門チャンネルなのだから、プロフェッショナルの強さみたいなものがあるべき。後に遺していく価値ある番組を制作して欲しい。
  - ・『ぶらり探訪・東海道』は、時代劇専門チャンネルならではの情報が盛り込まれ、新たな発見があって良かった。東海道を歩くと江戸にぶつかる、そういうことだと思う。
  - ・オリジナル帯番組は財産だ。ぜひ続けて欲しい。個人的には『剣客惣菜』を楽しみにしている。DVDを出すと良い。『瓦版』の「時代劇体操」コーナーは見ない。

#### < 事業者回答 >

- ・いただいたご意見は、今後のよりよい番組作りに生かしたい。  
『瓦版』は、テレビを見ながら身体を動かしていただくという発想から、体操コーナーを作った。背景のCGが世界を巡っているのは、丁度ワールドカップの年に制作をしたから。“GO! GO! 侍ニッポン”という歌を歌いながら世界を巡るというコンセプト。
- ・これ以上オリジナル番組の数を増やしていくより、今ある番組を深めたり、バラエティ感を出したり、プロフェッショナルの凄みを見せたり、ひとつひとつの番組の性格をしっかりとつけていくことが必要なかもしれない。
- ・ターゲットをどこに置くかで、番組の作り方が変わる。ここ10年ぐらいで時代劇専門チャンネルの視聴者層は大きく変わった。時代劇を見なかった層が見始めている。その変化に伴って、番組も古い感じがしないでもない。プラス一味ある番組が必要かと思う。
- ・説明の順序が逆になってしまったが、オリジナル番組はこれらだけではなく、編成に根ざしたものは別に作っている。そうしたものは、もっと骨っぽいのを放送している。

#### 7. 議題(2) 報告事項

- ・日本映画専門チャンネルにおいてペアレンタルロックという仕組みを導入し、今年3月BS放送開始とともに運用を始めた。映倫指定R-15映画の場合、放送に支障がないと確認した上で、映倫の判断を尊重し、ペアレンタルロックをかけて放送する。映倫指定がないオリジナルビデオ作品や現行レーティング制度制定前の作品で、性表現・暴力表現等が含まれ、放送に適するか、R-15相当か判断に迷う場合、番組審議会に諮る。また、性表現・暴力表現等は激しくなくとも、苛めや差別を助長しかねない、児童青少年の視聴に配慮すべき作品の場合、R-15でなくとも、ペアレンタルロックの設定を考えている。

8. その他の参考事項: 次回の番組審議委員会は2012年5月8日開催。 (以上)